

池子問題...公約も市民の願いも裏切った

こんにちは日本共産党大貫のり夫です <http://www.ohnuki.jp/>
大貫のり夫 2004年市議会報告
http://www.ohnuki.jp/journal/journal/12_19_log.html より

池子問題...公約も市民の願いも裏切った



横浜市消防局のヘリから
9月8日撮影

なぜ「早期全面返還」の基本方針を貫かないのですか

昨日22日、中田市長は池子の横浜市域への米軍家族住宅の建設受け入れを表明し、即日、防衛庁へ出向き石破防衛庁長官に伝えました。

9月2日に日米合同委員会施設部会が開かれ、国の考えが再提示されてわずか2週間。待ってましたとばかりにGOサインを出しました。

「早期全面返還」が横浜市の基本方針です。日米地位協定では「使用されていない基地・施設は日本に返還されなければならない」となっています。交換条件に挙げられた上瀬谷、富岡、深谷はその対象です。

また、1994年の逗子市・神奈川県・国の三者合意では、池

子米軍住宅地区内には住宅の追加建設はしませんとされています。逗子市はその三者合意を守るよう国を提訴しています。さらに、中田市長は、市長選の公約で市内の緑を守り育てる「緑倍増計画」を打ち出しています。

私は、疑問に思っています。市長は、なぜ「基地は要らない」「基地を返して欲しい」という市民の願いをどうして貫かないのでしょうか。米軍住宅の追加建設は、池子の貴重な緑を破壊し、基地としての池子を恒久化してしまいます。市民と力を合わせ、また、逗子市と協力し池子への米軍住宅建設をやめさせようとしませんか。日米安保条約の地位協定に基づいて堂々と遊休基地の返還を要求しないのでしょうか。

中田市長は間違った判断をしました。その間違いを正すためにも「米軍住宅追加建設NO！ 遊休基地の即時無条件返還」を、圧倒的な市民の声にしていきましょう。

記入日時 2004/09/23 (木) /12:17:34 No.180